

用語解説・索引

(ページ番号は本文のページ番号)

## **AF**

: アジア競技連盟 (Asian Federation)。  
(P.39、43、44)

## **HPSC**

: ハイパフォーマンススポーツセンター。  
東京都北区・西が丘にある国立スポーツ  
科学センター (JISS) とナショナルトレ  
ーニングセンター (NTC) の機能を一体  
的に捉えた、JSC が運営する我が国の国  
際競技力向上の中核拠点。(P.18、41、42、  
43)

## **IF**

: 国際競技連盟 (International Federation)。  
(P.7、39、43、44)

## **IOC**

: 国際オリンピック委員会 (International  
Olympic Committee)。(P.15、20、44、  
46)

## **ITA**

: 国際検査機関 (International Testing  
Agency)。(P.70、71)

## **JADA**

: 公益財団法人日本アンチ・ドーピング機  
構 (Japan Anti-Doping Agency)。  
(P.65、70～72)

## **JISS**

: 国立スポーツ科学センター (Japan  
Institute of Sports Sciences)。我が国の  
国際競技力向上に向け、スポーツ医科学  
等の分野から支援を行う拠点。(P.18、29)

## **JOC**

: 公益財団法人日本オリンピック委員会  
(Japanese Olympic Committee)。(P.7、  
38～40、44、46、47、63、64、72)

## **JOC ナショナルコーチアカデミー事業**

: 各競技種目のトップコーチ等を対象とし  
た演習・講義等により、「コーチング」「マ  
ネジメント」「コミュニケーション」等の  
カリキュラムやケースメソッドを通して  
経験や知見を交換し合える環境を作るこ  
とで、オリンピックを始めとする大規模  
国際競技大会に派遣するコーチ・スタッ  
フの更なる資質向上を図る事業。(P.64)

## **JPC**

: 公益財団法人日本パラスポーツ協会日本  
パラリンピック委員会 (Japanese  
Paralympic Committee)。(P.7、38、39、  
40、44、47、72)

## **JPSA**

: 公益財団法人日本パラスポーツ協会  
(Japanese Para Sports Association)。  
(P.40、56、60、64、69)

## **JSAA**

: 公益財団法人日本スポーツ仲裁機構 (The  
Japan Sports Arbitration Agency)。(P.  
69)

## **JSC**

：独立行政法人日本スポーツ振興センター（Japan Sport Council）。(P.18、37、39～44、47、54、58、67、68、70、71、75)

## **JSPO**

：公益財団法人日本スポーツ協会（Japan Sport Association）。(P.24、33、40、41、60～62、64、65、67)

## **MINEPS**

：ユネスコ教育・スポーツ担当大臣等国際会議（International Conference of Ministers and Senior Officials Responsible for Physical Education and Sport）。ユネスコ主催で、ユネスコ加盟国、準加盟国地域のスポーツ担当大臣等が集まり、スポーツにおける国際的重要課題について議論し、実行志向型の提言を発表する会議。(P.5、45)

## **NF**

：中央競技団体（National Federations）。(P.18、38～46、57、60、62～64、68、69、77)

## **NTC**

：味の素ナショナルトレーニングセンター（national training center）。我が国におけるトップレベル競技者の国際競技力の総合的な向上を図るトレーニング施設。(P.18、42、43)

## **PF**

：都道府県競技団体（Prefectures

Federations）。(P.42、43、60)

## **SDG s**

：持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）。2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDG s）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことが宣言されている。(P.5、15、21、45、46)

## **SFT 事業**

：Sport for Tomorrow 事業。東京大会に向けて、スポーツ庁・外務省が中心に官民連携して、世界のより良い未来のため、開発途上国を始めとする世界のあらゆる世代の人々に、スポーツの価値とオリ・パラ・ムーブメントを広げていくことを目標にした取組。(P.7、21、45、71)

## **SOIP**

：スポーツオープンイノベーションプラットフォーム（Sports Open Innovation Platform）。スポーツ分野と他産業の融合による新事業創出を目的とする。(P.44、45)

## **Sport in Life**

：スポーツが生涯を通じて人々の生活の一部となることで、スポーツを通じた「楽しさ」や「喜び」の拡大、共生社会の実現な

ど、一人一人の人生や社会が豊かになるという理念。(P.4、5)

#### **Sport in Life コンソーシアム**

: 地方公共団体、スポーツ団体、経済団体等が連携してスポーツ振興に取り組んでいくために、関係団体で構成するプロジェクト。Sport in Life プロジェクトの一環として行われている。(P.29)

#### **UNIVAS**

: 一般社団法人大学スポーツ協会 (Japan Association for University Athletics and Sport)。(P.35、36)

#### **WADA**

: 世界ドーピング防止機構 (World Anti-Doping Agency)。(P.8、70~72)

#### **カザン行動計画**

: 2017 年に開催された第 6 回ユネスコ教育・スポーツ担当大臣等国際会議 (MINEPS) にて採択された提言であり、「万人のためのスポーツへのアクセスに関する包括的な構想の展開」、「持続可能な開発と平和に向けたスポーツの貢献の最大化」、「スポーツの高潔性の保護」の三つのテーマに基づいている。(P.5、15)

#### **ガバナンスコード**

: スポーツ団体ガバナンスコード。スポーツ庁が策定したスポーツ団体が適切な組織運営を行うための原則・規範。(P.8、57、62、68、77)

#### **協働コンサルテーション**

: JSC、JOC 及び JPC により構成される協働チームと各 NF の強化責任者が、強化戦略プランの目標達成に向けた進捗状況等を確認の上、課題解決のための意見交換や情報提供等を行うもの。(P.39)

#### **クラシファイア**

: 国際競技大会等で、選手の障害度合いに応じてクラス分けを実施する人。(P.55)

#### **ジャパン・ライジング・スタープロジェクト**

: 関係団体と連携して、全国から次世代の有望なアスリートを発掘するプロジェクト。(P.40)

#### **スポーツ・インテグリティ**

: スポーツが様々な脅威により欠けることなく、価値ある高潔な状態。脅威の例として、ドーピング、八百長、違法賭博、違法薬物、暴力、各種ハラスメント、人種差別、スポーツ団体のガバナンスの欠如等がある。(P.8、10、20、68、79)

#### **「スポーツエールカンパニー」認定制度**

: 従業員の健康増進のために、スポーツの実施に向けた積極的な取組を行っている企業を「スポーツエールカンパニー」として認定する制度。従業員がスポーツに親しめる環境づくりを進める企業の社会的評価が向上することで、「働き盛り世代」を始めとして、国民全体のスポーツ実施率の向上につなげていくことを目的とする。(P.35)

#### **スポーツ施設のストック適正化ガイドライ**

ン

:「インフラ長寿命化基本計画」(平成 25 年 11 月インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議)等を踏まえ、公立スポーツ施設に関する個別施設計画の策定のための指針等として策定したもの。(P.59)

#### スポーツ推進委員

:市町村におけるスポーツ推進のための実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言、事業の企画立案や連絡調整、地域住民や行政、スポーツ団体等の間を円滑に取り持つ等のコーディネーターとして、市町村教育委員会等が委嘱し、地域スポーツ推進の中核的な役割を担う者。(P.56、65、66)

#### スポーツ仲裁自動応諾条項

:スポーツ紛争を迅速かつ適正に解決するため、JSAA によるスポーツ仲裁を活用することを定めるもの。(P.69)

#### 総合型地域スポーツクラブ(総合型クラブ)

:人々が、身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、子供から高齢者まで(多世代)、様々なスポーツを愛好する人々が(多種目)、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる(多志向)、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブ。(P.26、29~31、34、61、62、66)

#### 大学スポーツアドミニストレーター(SA)

:大学において大学スポーツ分野を戦略的

かつ一体的に管理・統括する専門人材。(P.35、36)

#### 地域スポーツコミッション

:地方公共団体、スポーツ団体、観光団体、商工団体、大学、企業等が一体となり、スポーツツーリズムを中心にスポーツによる地域振興に取り組む組織。(P.51、53、54、61)

#### 中間支援組織

:総合型クラブ登録・認証制度の運用を通じて総合型クラブの支援を行う都道府県体育・スポーツ協会のこと。(P.61)

#### 適合性審査

:統括団体が実施し、NF が 4 年ごとに受審する、スポーツ団体ガバナンスコードの遵守状況に関する審査。(P.8、68)

#### デュアルキャリア形成支援

:現役選手としてのキャリアと引退後のセカンドキャリアという 2 つのキャリアを含む人生設計全体を、アスリートが主体的に考え、現役時から 2 つのキャリアを形成することができるよう支援するもの。(P.63)

#### 統括団体

:JSPO、JOC、JPSA の 3 団体の総称。(P.8、57、58、62、68)

#### 日本版 FTEM

:アスリートの育成過程を「Foundation、Talent、Elite、Mastery」に分けたオーストラリアのフレームワークを基に、日本

の競技スポーツの基盤を踏まえたアスリート育成の在り方を根拠に基づいて段階的に見える化した枠組みとしてJSCが開発したもの。(P.40)

#### ハイパフォーマンススポーツ

: 国際競技大会等での活躍を目指すアスリートによる、スポーツの卓越性を目指す

スポーツ活動。(P.37、38、41、42)

#### ローザンヌ拠点

: 2022年度よりIOCを中心として多くの国際スポーツ団体の本部が置かれているスイス・ローザンヌにスポーツ界の動向や決定事項の情報を効果的に調査・収集等のため設置する拠点。(P.44)